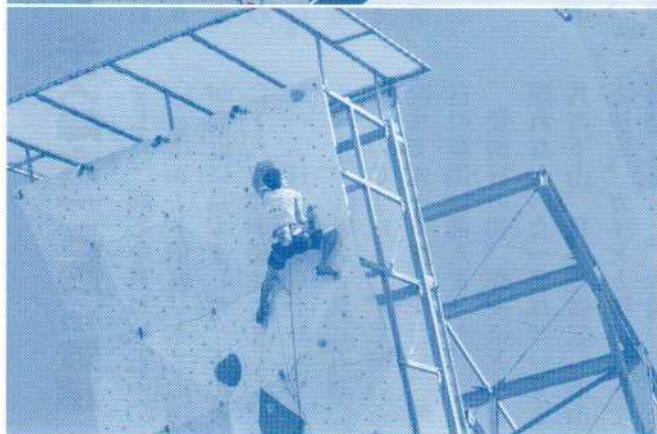


発行者/唐木 眞澄 事務局/河竹 康之 〒399-0701 塩尻市広丘吉田3359 サービス広丘507 TEL & FAX 0263 (57) 0787  
印刷所/双葉印刷 編集者/小林 國弘 〒399-8501 北安曇郡松川村5721-1864 TEL & FAX 0261 (62) 0186  
長野県山岳協会 HOMEPAGE URL <http://www.nmaj.org/>



## 長崎国体 笠原・中嶋

### リード3連覇、ボルダートと2冠



## 長崎国体

スポーツクライミング委員長

中嶋 岳志

ボルダリング決勝第二ラウンド用トランジットゾーンはボルダリのボード一枚を隔てただけのすぐ裏側にある。そこに決勝に進出した全チームが控えており、一チームずつ表に出ていく。登っているところは見えないが、何がおこっていて、誰がどれを登ったか、登れなかったかは大体わかってしまう。今年のボルダリングは異様だ。完登がほとんど出ない。長野チームはここまで三完登。大阪チームが第二ラウンドを一完登で終了したとき、私は優勝を確信した。

今年の国体は、長崎県大村市で開催された。成績は、少年男子がリード一八位、ボルダリング一六位、成年男子はリード、ボルダリングともに優勝だった。

少年の西脇と伊東は競技経験が浅く、今年になってかなり力をつけたとはいえ、全国に出ると厳しかった。これまで全国大会で見えてきた選手の多くが、五年以上の練習を積んでから活躍できるようになっており、二人が実力をつけるのはこれからだと思う。

成年男子の笠原と中嶋徹は余裕の勝利だった。コンビを組んで三年。リード優勝、ボルダリング二位だった昨年に比べ、二人ともさらに成長していた。笠原は昨年に比べボルダリング能力が著しく向上していたし、リードでも大会直前に鳳来でムードら5・14bを完登し調子が上がっていた。勉強が忙しく、一ヶ月間ほとんど練習できなかった中嶋の調子が不安材料だったが、ブランクなど問題にしない実力を彼は持っていた。二種目制覇完全優勝を本人たちが口にし、周囲からも勝利を期待された中で、それを実現したことは見事という他はない。

彼らはこの大会での優勝を花道として、自らのクライミングを追求しつつ、後進の育成に携わることを表明している。

山のニュースは  
**信濃毎日新聞**

信濃毎日新聞ご購読のお申込は ☎ 0120 - 81 - 4341 まで



国際部 国際登山交流委員会

国際登山交流委員長 古 阜 俊 彦

## 二〇一四ヤンパーチン(羊八井)キャンプ キズ峰六一五四m登頂

第一回の高所登山研修ヤンパーチンキャンプ二〇一四を一〇月四日から二週間、参加者五名で実施しました。

参加の申し込みが少なく、理事会での実施決定から約一ヶ月間の準備となりました。航空券の手配、富士山の順応山行、チベットの入域許可が出発一週間前に下りるといった際どいものとなりました。

北京で中国登山協会の李豪傑さんの出迎えを受け空港で全隊員が合流し、入域許可証を受領し体勢が整いました。

チベット東部の雪を頂いた切り立った山域が眼下に連なり、澄み切ったクンガ空港着。



ガイドのダワさんに迎えられて、整備された道路をラサマで四〇分ほど、黄色く色付き始めた木々に、刈取りが終わった畑に、晩秋を感じました。車の雑踏の中を巧みにすり抜けて行き交う姿は他の都市と変わりません。車を降りて飯店のロビー迄、標高が高いこと身をもって実感しました。午後は休養。

ラサマでの順応の最終日、市内東方ナチャン・ラを超え、車で四〇分ほどの所にある四五〇m旗の寺、查叶巴寺へ。岩山の斜面に岩壁に張り付くように建てられた伽藍を巡り、順応訓練を兼ねて回りました。その夜、登山協会による歓迎夕食会があり、一昨年長野を訪れた張さんを始め協会の方と交流を深めました。

九日、発熱した隊員に付き添う二名と別れて、ガイド他七名でBCへ向かい、羊八井の登山センターで登山装備を準備しました。道路が工事中でテント場に行けず、嘎洛寺下の派出所にBCを設置。翌日二名が到着し、全員が揃い

ました。順応を兼ねて五一〇〇m迄ルート偵察、キズ山頂が間近に見えました。下山後、C1入りの準備をしました。

一二日、村から上がってきたポーター八名と共に五四〇〇mのC1に入り、氷河の舌端までルート確認を行い、明日の登頂に備えました。

登頂日の朝、昨夜ほとんど眠れなかった一名はコックと共に下山、登頂後撤収し下山と決定。ガイドと隊員三名で出発しました。舌端の堅い氷

の斜面を乗り越してトレースのある雪原を進み、左手の尾根への取り付き手前で一本立てました。うす雲が広がり、今まで一番天気が悪く、ここから先はアンザイレンして急登、一步一步確実に足場を決めて高度を稼ぎました。山頂に続く尾根に出ると、頂上が間近に見えました。雪稜をたどってキズ主峰に一二時前に登頂。兄弟協定一〇周年記念登山隊から一七年前が過ぎていました。主峰に立てた感涙に浸り、遮るものがない展望に時のたつのも忘れませんでした。

小さな長山協旗を胸に記念撮影、短い滞在を終え下山に移りました。C1で軽い食事をとりBCに向かいました。荷下げに向かうポーターに声を掛けながら五時半過ぎにBCに到着しました。ラサビールで登頂の乾杯。登山行動は終了しました。

翌日は山頂あたりに雲が懸り、雪模様。昼近くからは陽射しも戻り、予定より一日早くラサに戻りました。ラサ最後の夜、答礼の夕食会。尼瑪君は北京出張で、逢えなかったのが心残りでした。

全員での登頂は叶いませんでしたが交流を深め、兄弟協定三〇周年記念の合同登山に向けての第一歩を踏み出すことが出来ました。具体的な山の選定、多くの協会員、特に若手の参加が出来る体制作りが課題です。来年は五月の連休、又は九月下旬から一〇月上旬に計画を予定しています。

## 参加者

百瀬尚幸 (CMC)  
三沢悦郎 (岡谷山稜)  
花岡秀幸 (岡谷山岳)  
古阜俊彦 (GDM)  
太田正秀 (愛知県)

フリークライミング、アルパインの練習はもちろん  
登山、沢登り、レジャー、基礎体力向上にも！  
初心者歓迎！老若男女、誰でも楽しめます！

平日13:00-22:00  
土 10:00-22:00  
日祝10:00-20:00

CLIMBING CENTER  
ARTWALL

長野市真島町川合189-1  
TEL 026-284-8136  
URL <http://artwall.ne.nu>

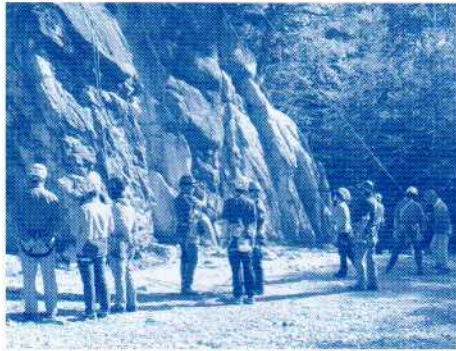
そのほかにも、クライミング施設的设计・施工  
ホールド販売 etc. お気軽にご相談ください！



導 会  
指 員  
委 員

# 長山協キャンプ in 小川山

指導委員長 村上 周平



九月二十七日、二十八日、雨続きだった夏が嘘のような秋晴れの中、第二八回「長山協キャンプ in 小川山」に参加しました。  
二十七日の日は自由行動だったので、会のメンバー四人と母岩に向かいました。小川山はどこも取り付きが分かりにくいので有名ですが、今回も出だして間違い、一時間程うろろする羽目になりました。母岩に着いた後は右端の岩でクライミング練習を行いました。夜の懇親会では味噌汁と白湯風(?)の二種類の豚汁をおいしくいただきました。木ローソクの明かりの中、自

己紹介ではそれぞれ内に秘めた思いを語っていただき、酒を交わし、いろいろな会の方と親睦を深めることができました。

二日目は朝七時集合で、初級者班、指導員資格取得希望者事前講習班、上級者班に分かれ、それぞれ講習を行いました。フェニックスの岩場で初級者講習は今年指導員資格を取得した方々が講師となり、熱心に指導していました。私が参加した指導員資格取得希望者班は支点構築、自己脱出、懸垂下降(途中で一時停止する)と基本をひと通り行いました。何度も練習していることではあるものの、何気なくやってしまう動作について「理由は？」と聞かれるとやはり思考も動作も止まってしまい、人に分かりやすく説明するのは本当に難しいとつくづく感じました。そのほか、三・一引上げシステムの復習をしました。これもまだまだスムーズには構築できないのですが、非力女子(?)にはきちんとマスターしたい技術です。また、ロープがロックする新

しいタイプのATCの使い方を紹介していただきました。道具も次々新しいものが出てくるので、使い方や使用感など情報交換の機会が持てるのもうれしいことです。あっという間に終了時間となり、今年の講習は午前中だけでしたが、中身の濃い内容でした。ご指導頂いた講師の方々、どうもありがとうございました。私の会は元気があり余り、午後も再び母岩で練習し、帰路につきました。

奇しくも二十七日に御岳山が噴火しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。講習に参加された方々にも、ご家族や知人から安否を気遣うメールがたくさん届いていたようです。懇親会るとき「山に登るといふことは、そういうところ(何が起こってもおかしくないところ)に行っているのだ」ということ。その意識は大切」というお話がありました(酔っばらの記憶ではそんな感じだったと思います……違っていたらすみません)。山で何ができるのか、人に何ができるのか、今持っている知識や技術をどう生かすことができるのか、そんなことをいろいろ考えさせられた二日間でもありました。

奥穂高・前穂高を全眺  
できる湯けむり館

## 中の湯温泉旅館



平成10年安房峠中腹に移転。

夏は焼岳登山、冬は上高地の  
スノートレッキングの基地として  
満喫して下さい。

スノーシュー・XCスキーレンタル有



〒390-1516

長野県松本市安曇中の湯

TEL 0263-95-2407

FAX 0263-95-2514



## 中高年安全登山指導者講習会に参加して



伊那山の会 原 小百合

九月下旬の三日間、青森県で開催された講習会に参加しました。近年、中高年の登山人口が増え、遭難の六割以上を六〇歳以上の年齢層が占めている、中高年の多くは持病を持っており、負荷のかかる登山中の発症も多いとのこと。自分も該当年齢になったので参加する意義を感じ、遠方ながら行ってきました。

国際山岳医でもある大城和恵先生からは、間違った解釈や普及を防ぐ意味で「伝達講習禁」とのことでしたので、講習会の様子を伝えたいと思います。(本気で学ぶための、日本山岳学会主催「山岳ファーストエイド講習会」全五日間の紹介あり。)

講習会初日と三日目は岩木青少年スポーツセンターでの

座学、二日目は岩木山を舞台に実技研修でした。幸い天候に恵まれ、名峰岩木山を十分に堪能できました。

実技は、①山岳遭難を発見した時の医療関係者以外の人ができる対応(観察ポイントと判断基準)、②低体温症者への対応でした。実際に遭遇する機会はめったにないと思いますが、学びとして大きかったのは、自らが遭難に至らないためにどうすれば良いかということでした。

それは、登山する前の準備と、リスクを念頭に置いた予防という事です。リーダー任せの登山ではなく、自らも地図を広げルートを十分イメージアップすること、前日の十分な睡眠や栄養補給、登山前の水分補給などです。単独登山は慎重、メンバーの力量を勘案したグループ行動も大切だと思いました。

私達が岩木山山頂にいた頃、御嶽山噴火があり、多くの友人知人から、私が噴火に遭遇したのではないかと心配されました。その後の噴火事故報道を見ていて、登山計画書を家族等に知らせておくことも必要な事だと痛感しました。終わりに、不幸にも噴火事故に遭われた方々のご冥福をお祈りいたします。

## 全日本登山体育大会徳島大会

伊那山の会 佐野隆司

全日本登山体育大会は、毎年各都道府県が持ち回りで行って、第五三回は一〇月一日から一三日に掛けて徳島県で開催され、全国からの参加者一八〇名とスタッフは、剣山、赤帽子山、丸笹山、三嶺の各コースに分かれて登山を行いました。長野県からは私一人の参加でした。

初日は徳島市内で開会式を行い、鹿の食害についての講演を聴き、その後各山小屋へ移動しました。私は百名山の剣山(一九五五m)のコースで、徳島市内から登山口(一四〇〇m)まではバスで一時間五〇分程掛かり、奥深くまで入りました。

二日目に登山を行い、このコースの参加者五五名とスタッフは五班に分かれて登りました。剣山は信仰の山で道中にはいくつかの神社があり、途中の大剣神社には剣の様にそびえ立つ巨岩の御塔石や紅葉も楽しめ、また特に危険な所はなく道は整備されていて、四時間四〇分程の往復を楽しく歩きました。

その夜は徳島市内で全員でのお別れ会があり、阿波踊りなどで楽しみました。また第四二回の長野大会で同じ班だった高知県の方と偶然にも隣の席になり再会することも出来ました。

この大会は、登山以外に各地域の特色を楽しめるものでもあります。来年は宮城県の栗駒山を中心に行われます。参加費が少々高いのと遠いのが難ですが、名湯鳴子温泉と紅葉、震災からの復興と観光を楽しんではいかがでしょう。



大剣神社と御塔石

標高2,000mの雲上の一軒宿

通年営業

春 新緑とレンゲつつじのお花畑、

夏 百花乱舞の高山植物のお花畑、

秋 マツムシ草の大群落と紅葉、

冬 霧氷の白銀スノートレッキング、  
(スノーシュー・XCスキーレンタル有ります)

### 美ヶ原高原ホテル山本小屋

〒386-0701 長野県小県郡長和町美ヶ原5101-1  
TEL 0268-86-2011 FAX 0268-86-2013  
URL <http://www.utsukushigahara.com>



### 指導者研修会Ⅱ (冬山) 募集

長野県山岳協会 遭難対策委員会・指導委員会共催

期 日：2015(平成27)年1月17日(土)～18日(日)

研修場所：講義と宿泊は山岳総合センター  
実技は山岳総合センター周辺及び黒沢尾根

受講対象：山岳総合センター講師  
長野県山岳協会加盟山岳会指導者及びリーダー  
山岳総合センターリーダーコース修了生

募集人数：45名

講 師：I C I 石井スポーツグループ登山学校 事務局長  
長野県山岳総合センター アドバイザー 東 秀訓氏

参加費：7,000円  
食費 (17日昼食・夕食、18日朝食)、センター宿泊費含む  
リフト代金は各自購入、18日行動食は各自で用意

申込：長野県山岳協会員は5,000円  
長野県山岳総合センターホームページにて要項を取得し、ファックスまたはメールで長野県山岳総合センター所長あてに

申込締切：2015(平成27)年1月9日(金)  
締切日前でも定員に達した場合は申込をお断りする場合があります。



垂壁での停止技術とロープの保護技術

二〇一四年八月二三日、二四日の二日間にわたり「日本ロープレスキュー協会代表」「日本山岳協会指導常任委員」の堤信夫氏を講師に招き「登山者のための安全確保」の講義、「初級レスキュー技術」、「ロープレスキュー技術」、「ストレッチャーを使用した搬送」の野外研修を行いました。大町公園と山岳総合センター周辺で行われた研修には協会員他三五名の参加者があり、熱意ある堤講師の理論に

基づいた指導の下で各班に分れてロープレスキュー技術の基礎から応用まで盛り沢山の講習内容でした。講習内容全般の満足度は高かったのですが、知識と技術を理解して実際の現場で行うには、複数回の研修を望む声がありました。また、参加者の技術レベルや持参装備にも差があり、班編成を考慮した指導内容とする必要も感じます。今後指導者研修において実践的安全確実な技術研修会を行えるよう、幅広く協会の要望等を受け入れ、指導委員会と遭難対策委員会との協議を行い、安全登山の普及を進めていきたいと思えます。

### 遭難対策委員会

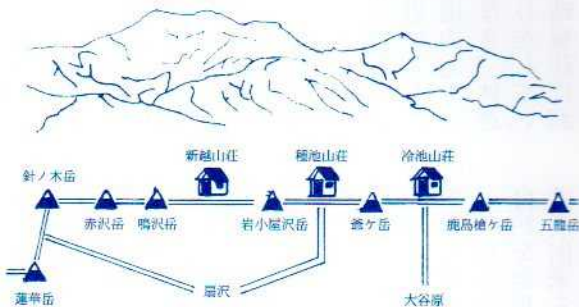
## 指導者研修会Ⅰ (夏山)

遭難対策委員長 村田 健治

### — 中部山岳国立公園 — 北アルプス

## 爺ヶ岳 (2669m) & 鹿島槍ヶ岳 (2889m)

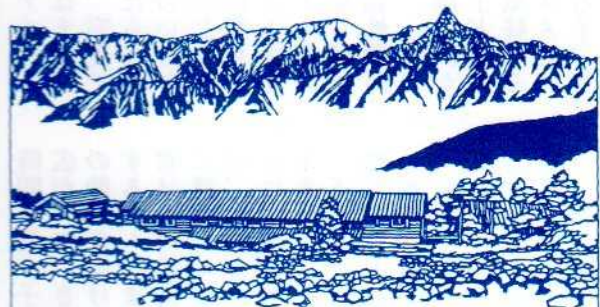
2004年夏 冷池山荘全面リニューアルオープン!



### 新越山荘 — 種池山荘 — 冷池山荘

連絡先 大町市平借馬5328 柏原 正 泰  
TEL 0261-22-1263

## 槍・穂高に乾杯



日本百名山 常念小屋 Mt. Jōnen 2,857m  
JAPAN ALPS

松本事務所/松本市沢村1-11-18 〒390-0877 TEL0263-33-9458  
山のしおり進呈 (送料不要) 山小屋直通 TEL090-1430-3328



ジュニア委員会

ジュニア登山教室② in 高瀬渓谷

ジュニア委員 諏訪山岳会 藤巻 功

一〇月一日、恒例の「ジュニア登山教室 in 高瀬渓谷 (湯俣で足湯に入ろう)」が開催されました。参加者は小学三年生と六年生の計一七名、そしてスタッフ五名の総勢二二名です。今回は三分の一がリピーター、三分の一が八月の登山教室に参加していた子、残りの三分の一が初めて参加した子たちでした。

当日は台風の影響が心配されましたが、当初の予報よりも台風が遅れたおかげで無風快晴、雲一つない絶好の登山日和となりました。

秋に入ってから大町市、安曇野市周辺では熊の目撃情報が増え、参加者の親御さんからも心配の声が聞かれました。中信森林管理署の担当の方に問い合わせたところ、「今回のルートでは、今シーズン、熊の目撃情報は今まで



全員でハイ！ポーズ

ないこと」、また「熊は蚊取り線香の匂いが嫌いなこと」等を教えて頂きました。さらに万全を期すために以下の対策を

策をしました。  
・なるべくパーティーがばらけないようにまとまって行動する。  
・曲がり道等の見通しの悪いところでは笛を吹く。  
・熊鈴を身につける。  
また、道中、笛を持っていた子は「ピーピー鳴らし、子どもたちは大きな声で楽しそうにおしゃべりをして大にぎわいで、これが一番の熊よけになっているように思いました。子どもたちは片道約七キロの道のりを元気に歩き、休憩中も水遊びや岩登りをしていました。予定通り晴嵐荘に着し、待ちに待ったお弁当

タイムです。すると、猿が現れ、子どもたちは大喜び！さらに晴嵐荘ではアイスをこちそうになり、子どもたちはまたまた大喜びです。  
その後、上流の温泉の湧くエリアに行き、ゆで卵を作ったり、思い思いの場所です湯をしたりして楽しみました。帰り道では流石に疲れたかと思っていると蛇を見つけて騒いだりして最後までとても元気に歩き、全員怪我もなく、無事に帰ることができました。一日を通して天候に恵まれ、自然を全身で感じ山の魅力を満喫出来る、とても良い登山教室でした。

ジュニア登山教室③ もっと高くクライミング!

ジュニア委員 L&M 麻田 正明



A講師「その赤に手をかけて」、S君「むりむり」、もうだめ」、K講師「手を伸ばせば届くよ」、S君「だめ」、おかあさん、マミー、マーム、ママー、助けて」。十月十二日、大町の人工岩場を会場に行われた、ジュニア登山教室③「もっと高くクライミング!」の一コマ。センターの職員ならびに長山協のジュニア委員を中心とした講師陣が九名。人工岩場に九コースを設定したトップ

ロープクライミングに、県内外の小学一年生から中学三年生までの二七人が参加しました。前日の湯俣トレッキングに続けての子も数人、過去本教室に参加した経験のあるリピーターが約三分の一、全く初めての子ども何人かと、多彩な参加者でした。

開校式で注意事項を聞いた後、準備体操をして、いざクライムオン。一本目は緊張していましたが、二回も登るとげんきなもの。次から次に空いているコースに並んで果敢にチャレンジしました。九コースにはリスとかイルカとか動物の名前がつけられ、マ

ニアックとここではアルパカも登場。子どもたちはチャレンジカードを持って、完登できたら銀色、挑戦したら赤色のシールを貼ってもらいながら、登り続けます。同じルートの完登を目指して何度もか、とにかく全部のコースを制覇しようとか、コース毎の六つのシール欄を上から順に埋めるためにとか、個性豊かな攻め方でした。  
ピレイヤーの講師陣は次から次へと登り続ける子どもたちのタフさに押され気味。そのうちに運動靴でもスニーカーでガンガンと登る子、課題を作ってもらって登る子、時間を競う子と、楽しみ方も広がっていきました。ムーブの助言を受けてみるみる上達する子もいました。冒頭のS君はその後何度も同じコースに挑戦して手ずっ高さを上げ、中間テラスまで登れるようになり、大満足で一日を終えました。  
子どもたちが一日の経験で感じたこと、得たことは、どこに残る財産になったことでしょうか。競技人口の拡大はもちろんです、名クライマーが育っていけばなども密かに夢見つつ、子どもたちの生き生きとした顔を見せてもらった、気持ちのよい一日でした。



# ジュニア登山協会から ふたつのお願い

## 「ジュニア登山教室」にスタッフとして参加しませんか？

ジュニア委員会では、「ジュニア登山教室」にスタッフとして参加していただける方を大募集しています。子ども達のクライミングのバレイをしたり、また「湯俣」や「守屋山」と一緒に登ったりします。

## 履かなくなった「クライミングシューズ」ありませんか？

小・中学生および高校生が履く「クライミングシューズ」の提供をお願いします。履かなくなったものでまだ使用できるシューズ、子どもさんが大きくなったため履かなくなったシューズ等ありませんか。

「ジュニア登山教室」スタッフ参加希望の方、またクライミングシューズの提供をしていただける方は、下記まで連絡をお願いします。

ジュニア委員長 傘木 (長野県山岳総合センター)  
TEL 0261-22-2773  
メール info@sangakusogocenter.com

# 指定管理二期目の候補者に決定

長野県山岳総合センター所長 杉田浩康

山はすっかり冬のたたずまい。大町から見える爺ヶ岳や鹿島槍は顔を出す度に白くなっています。

十一月七日に県から、来年度からの指定管理者候補に決まったとの連絡が届きました。正式には十一月に県議会で承認されないといけないので今は候補者ですが、やまなみが発行される頃には決まっていると思います。

一期目の今は、NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみと、長野県山岳協会が共同で運営する形をとっています。来年度からは、長野県山岳協会が単独で運営することになります。その理由は、先ず今の運営の実態に合わせることも、もう一つ、山岳センターの運営は長野県山岳協会が担当し、個々の事業でやまたみと協力しあうほうが互いの力をうまく発揮できると判断したからです。

山岳会に入らない登山者が増えていく中で、我々が培ってきた安全に山に登り楽しむ方法を協会員以外の人にも教えたいと考えたのが、山岳センター指定管理者になろうと

考えた時の一番の目的です。二年半で約百五十回、参加者延べ三千人に講習を行いました。二期目の指定管理者選定でも、この実績が大きく評価されました。もう一つの目的は、教えることで長山協の組織強化につなげたいということでした。これは指導員を中心に、多くの人に講師を務めてもらいました。山岳会に入らないで登山をしている人がほとんどという今の時代に、基礎からきちんと積み上げた技術と豊富な経験をもとにした指導は実践的だと、受講した人たちから高い評価を受けています。また、山岳センターの講習に参加した人が長野県山岳協会傘下の山岳会に入ってきています。まだまだ数は少ないですが、これを続けていけばいずれ大きな力になることは間違いありません。これまでやってきたことが少しずつ実を結びつつあります。二期目は五年間です。今の良い流れを更に推し進めて行きたいと考えています。全ての協会員の皆様のご支援をお願いします。



# カモシカスポーツ 山の店・松本店

## パウダークリニック & ファットスキー試乗会 1/11 (日)

### 白馬コルチナスキー場 参加予約受け付け中 参加料金 ¥3,000

ご予約、お問い合わせは、下記まで。

長野県松本市和田1478-1  
(電話)0263-48-2424  
(ファックス)0263-48-2420  
matsumoto@kamoshika.co.jp  
http://www.kamoshika.co.jp

営業時間/10:30~20:00(土日祝 10:30~19:00)



12/31 (水) ~1/3 (土) は、休業いたします。



高体連

全国高等学校総合体育大会  
登山競技報告 (屋代高等学校)

3年男子CL 峯村 航

インターハイを終えての自分の感想は、インターハイは県大会とは想像以上に異なっていたということ。登山の形式は県では常に四人一組のチーム行動でしたが、全国は班行動だったり隊行動といった比較的大人数での登山でした。

なので後ろの方のチームは前のチームの少しの遅れなどが大きくなって届くので、歩行のリズムの重要性に改めて気づかされました。

他に、県では筆記を受けるのは二人ですが全国では四人全員で受けるので、県以上に一人一人が重要な役割を持つ



ているし、誰かのミスを他の三人でフォローする場面も増え、チームワークも県以上に大切だと思いました。

○最後に、整いました。

「来年のインターハイの天気とかけまして、マムシに咬まれた時とききます。

その心は、どちらもとってものはれるでしょう。」

3年女子CL 竹内妃奈

インターハイに初めて出場しました。箱根の地で私が一番驚いたのは植物の美しさです。

長野という自然に恵まれた場所に住んでいながら、春から夏にかけて登る山は主に六月の県大会に登る山でした。

そのため、植物はまだ花開いておらず、色とりどりの花を見たことがありませんでした。八月になり、インターハイの下見に金時山に入った時、様々な色に出会い、山は緑ではないと知りました。

しかし、驚きはそれだけではなくありませんでした。インターハイ本番、再び同じ山に入っているはずなのに、数日前の下見では見なかった花が咲

いています。記録に自然観察を書かなくてはいけないのに、知らない花が沢山咲いていて、私達はとても困りました。



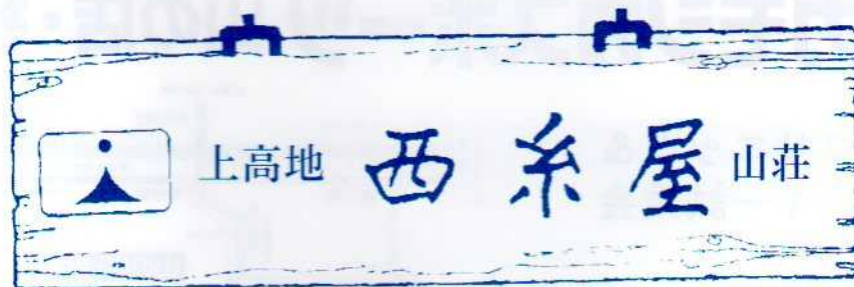
天気図審査の様子

二日目、登るはずだった神山が台風一一号の影響で中止になってしまいました。とても残念でしたが、空いた時間で役員の方々が植生の紹介をしてくださいました。そのおかげで、三日目の三国山では知っている植物を探しながら歩き、とても楽しい山行となりました。

天気は芳しくありませんでしたが、知らない植物に出会うことができ良かったです。○整いました。

「来年のインターハイとかけ、ホテルのご飯ととく。その心は、次こそ勝つ(カツ)でしょう。」

「来年のインターハイとかけ、ホテルのご飯ととく。その心は、次こそ勝つ(カツ)でしょう。」



<http://www.nishiitoya.com/> E-mail [info@nishiitoya.com](mailto:info@nishiitoya.com)



〒390-1516 長野県松本市上高地  
TEL 0263-95-2206  
FAX 0263-95-2208

冬期事務所 (11月中旬～4月中旬)  
〒390-0303 長野県松本市浅間温泉3-26-10  
TEL & FAX 0263-46-1358



協会業務短信

- 【9月】 ☆12日～13日 東信地区高体連新人体育大会
- ☆17日 中信地区幹事会④
- ☆19日～20日 中信地区高体連新人体育大会
- ☆25日 日山協自然保護常任委員会
- ☆26日～27日 南信地区高体連新人体育大会
- ☆27日～28日 第27回長山協キャンプ  
(13の山岳会・47名参加)
- 【10月】 ☆4日～17日 2014ヤンパーチンキャンプ  
(古島隊長以下5名参加)
- ☆5日 八ヶ岳清掃登山 (17名参加)
- ☆9日 日山協自然保護常任委員会 (小林)
- ☆10日～11日 北信地区高体連新人体育大会
- ☆11日 ジュニア登山教室 (高瀬溪谷 子ども17名・スタッフ5名)
- ☆12日 ジュニア登山教室 (大町人工岩場 子ども27名・スタッフ10名)
- ☆16日～20日 長崎国体  
(唐木・大西・松田)
- ☆16日～17日 県高体連反省会兼次年度下見 (上田・東御)
- ☆18日～19日 日山協自然保護交流会  
(那須高原 小林)
- ☆22日 中信支部交流会 (18名参加)
- ☆31日～11月1日 中信高体連安全登山研修交流会 (大町)
- 【11月】 ☆8日～9日 北信越高体連5県連絡協議会 (上高地)
- ☆10日 指導委員会・常任委員会

- ☆13日 日山協自然保護常任委員会 (小林)
- ☆18日 伊那支部幹事会④
- ☆22日～26日 アジア山岳連盟総会  
(広島県 古島・大西・小林)
- ☆22日～24日 日山協自然保護委員会総会  
(広島県 小林)
- ☆29日～30日 北信越5県連絡協議会  
(新潟県 田中・杉田・古島・西田)

【12月】 ☆10日 やまなみ215号発行

今後の予定

- 【12月】 ☆11日 諏訪支部幹事会⑤
- ☆11日 日山協自然保護常任委員会
- ☆13日 物見の岩お礼
- ☆13日～14日 伊那支部・雪上訓練
- ☆24日 中信支部幹事会
- 【1月】 ☆8日 東北信支部幹事会
- ☆13日 指導委員会・常任委員会
- ☆16日 諏訪支部新年会
- ☆17日～18日 指導者研修会Ⅱ (山岳総合センターその他)
- ☆24日～25日 第3回ウィンターミーティング (行者小屋周辺)
- 【2月】 ☆1日 山のセミナー
- ☆15日 伊那支部・冬山交流会
- ☆21日 指導委員会・常任委員会、指導員総会
- ☆28日～3月1日 東北信支部・雪山交流会
- 【3月】 ☆3日 伊那支部定期総会
- ☆10日 やまなみ216号発行



## 槍とともに90年

槍ヶ岳肩 **槍ヶ岳山荘** 南岳 **南岳小屋**

直通 090-2641-1911 直通 090-4524-9448

槍 沢 **槍沢ロッジ** アルプス銀座 **大天井ヒュッテ**

直通 0263-95-2626 直通 090-1401-7884

山と山は相隣りて美し  
山と山は相隣りて美し

# 双葉印刷(有)

〒390-0807 松本市城東二一ニ一六  
TEL (0263) 3212263  
FAX (0263) 3617128

お問合せは…☎390-0813 松本市理橋1丁目7の2 槍ヶ岳山荘事務所 TEL (0263)35-7200・FAX 35-0637



今年も左記の団体、会員の皆様方から、総額十一万一千円という過分なるカンパを頂きました。合宿費、競技用ユニホーム等、選手の個人負担を極力低減するように、有効に活用させて頂きました。また、選手団は皆様方の支援に

### 国体カンパのお礼

国体委員長  
松田 大

感謝し、より一層の高みを目指しました。ご支援に心から感謝申し上げます。  
【山岳会】  
アートウォールクラブ2  
伊那山の会 大町山の会  
山岳会CMC 信高山岳会  
中条山岳会 中野山岳会  
【個人】  
浅野功治 アートモリ  
アラキヒロフミ 浮須由実  
遠藤正孝 大西 浩

傘木 靖  
唐木 真澄  
小林 貞幸  
佐伯 和人  
重田 肇  
杉田 浩康  
田中 幸雄  
中島 俊弥  
西田 俊均  
古島 俊彦  
宮本 義彦  
勝山 文子  
河竹 康之  
小宮 山守  
佐野 隆司  
菅田 昭寛  
杉山 昭久  
田村 宣紀  
西澤 晃  
沼田 陽子  
松山 誠  
村田 健治  
(敬称略・五十音順)

## 支部だより 雪山交流会開催のお知らせ

- 日時 平成27年2月28日(土)～3月1日(日)
- 場所 長野県須坂青年の家 Tel: 0268-74-3017  
須坂市大字仁礼字峰の原3153-784  
http://suzaka-seinennoie.info/index.html
- 装備・食糧・飲物等 参加者各自でご用意ください。  
※1日夕食・2日朝食は用意しております。
- 参加対象 長山協加盟団体・加盟会員
- 参加費 一人 3,000円(1泊2食)
- 活動内容 根子岳登山(山スキー・スノーボードなど)
- 日程  
28日(土) 16:00～16:20 受付 1日(日) 6:30 起床  
16:30～16:50 入所式 7:00～7:20 清掃  
(入所式終了後、入浴等、自由時間) 7:30～8:00 朝食  
18:00～18:30 夕食 8:10～8:20 退所式  
19:00～ 交流会 8:30 根子岳登山
- 申込方法 別紙の申込書に山岳会は参加者を取りまとめのうえ、個人会員の方は必要事項を記入いただき、FAXまたはE-mailにて、2月20日(金)までにお申し込み下さい。  
【申込先】 東北信支部事務局 宮下 克規  
TEL&FAX: 026-221-1173  
E-mail: umekiya@mx1.avis.ne.jp
- その他 2日目、根子岳登山からは山岳会ごとの行動(山岳会で計画書を作成)を基本としますが、個人会員等、パーティの組めない参加者にてパーティを構成しますので、ご連絡ください。

## アルパインツアーなら、きっと愉快的な山仲間に出会えます



### ツアーカタログをご請求ください

「世界の山旅・辺境の旅」各種カタログご希望の方は下記ホームページ、メールまたは問い合わせ先までご請求ください。無料でお送りします。

アルパインツアー **検索**  
HP [www.alpine-tour.com](http://www.alpine-tour.com)  
✉ [info@alpine-tour.com](mailto:info@alpine-tour.com)

旅行企画・実施  
観光庁長官登録旅行業第490号(第1種)  
一般社団法人 日本旅行業協会 正会員 旅行業公正取引協議会会員 ホント保証会員  
**アルパインツアーサービス株式会社**

●お問い合わせ・お申し込み  
東京 / 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11(第7東洋海事ビル4階) ☎03(3503)1911  
大阪 / 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階) ☎06(6444)3033  
名古屋 / 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2(第3千禧ビル3階) ☎052(581)3211  
福岡 / 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-2-8 (セントラルビル5階) ☎092(715)1557  
総合旅行業権取扱管理者 亀田広明(東京)・大島義広(大阪)・中川元宏(名古屋)・渡部秀敏(福岡)



# ネパール通信



## 季節外れの豪雪

コスモトレック 大津 昭宣

一〇月一四日、中西部を襲った季節外れの豪雪は多くの人命を奪った。

豪雪の原因はインド洋に発生したサイクロン(台風)がインド東部ベンガル湾を北上、バングラデシュを直撃した影響によるものであるが、従来サイクロンはネパールでは南東部テライ地区の大洪水などの原因になっていたものが、今回は日本でお馴染みの局地ゲリラ豪雨よろしく、ネパールでも乾燥地区に属するトロンパス峠(五四一六m)を境とする東側のアンナプルナ北面、西側のムスタン山岳地帯に集中的に大雪と雪崩をもたらした。

両地域を管轄するCDO (Chief District Officer 郡、県知事)によれば、この時期、ムスタン側のムクチナートとアンナプルナ北面のマナン村から合わせて五五〇名以上のトレッカーがこの峠を歩き来していたとしている。

最終的な遭難者は外国人三二名、ガイド、村人などの多くのネパール人が亡くなっている。国籍はイスラエル、スロバキア、インド、ベトナム、ポーランドなど多岐にわたっているが、珍しいのは従来最も多くのトレッカーを送っている欧米人がいなかったことである。

軍、警察などのヘリコプターなどに救出されたトレッカーによれば、一四日は朝から好天で殆どのトレッカーが半袖姿で歩いており、所持していた装備も軽装が多く、天候の急変に対応する間もなく豪雪に埋まってしまったそうである。

実際ネパールの一〇月、十一月は最も天候が安定しており、欧米人などは半袖、半ズボンで快適なトレッキングをしている者も多く見受けられる。

問題になったのは亡くなった多くのトレッカーがガイド無しの単独が多かったことであり、TAAAN (Trekking Agent Association of Nepal トレッキング協会)などトレッキングを管理する団体では、ガイドレスの単独トレッカーについては規制をする考えを示している者もいる。

ネパールでは一九九五年の一月にも豪雪、雪崩事故が頻発した。特にゴークョのパンカでは宿泊していたロッジを雪崩が襲い、日本人一三名が犠牲となり、ネパール全体では二二名の多くを数えた。

地球全体の天候不順が我々の知恵を超えているのか、自然災害を予測することは難しそうである。

## 世界中の山々でご活躍の長野県のみなさまへ 神々の国ネパールはいかがですか

### ごあいさつ

弊社は創立以来、登山隊、調査隊、撮影隊などへのサポートやトレッキング、各種観光旅行の手配に、多くの方々のご支持をいただきました。今後ともお客様にご満足頂けますよう努めて参りますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。遠征隊、登山隊につきましては大津二三子と奥田仁一が担当させて頂きます。日本語でお気軽にお問い合わせください。

### 登山隊取扱い実績

- メジャーエクスペディション (ネパール政府許可峰と中国への登山隊) 297隊 (2011年末現在)
- ライトエクスペディション (ネパール山岳協会許可峰) 354隊 (2011年末現在)

## コスモトレック&トラベル株式会社

PO. BOX 2541 Lazimpat Kathmandu, NEPAL Tel: +977-1-4416226, 4411437 Fax: +977-1-4415275  
E-mail: fumi@mos.com.np (日本語) cosmo@mos.com.np (英語) http://www.cosmotrektravel.com





戸隠山は長野市の北に位置する標高一九〇四mの山で、私が所属する山岳会「グループ・ド・モレーヌ」のシンボルとなっています。

秋の紅葉を堪能すべく同じ山岳会に所属する先輩の戸谷さんと朝六時に奥社無料駐車場に到着しました。早朝にも関わらず空いていたのはわずか一台であり、その空きスペースに滑り込み戸隠山の人気の高さを改めて実感しました。

戸隠山にアクセスするルートは様々ですが、今回の道順として戸隠連峰の中の三方峠から九頭龍、戸隠山、一不動

吉永小百合さんのCMでもお馴染みの杉並木が続く中、神秘的なパワーを浴びながら奥社へ向かい、道中の安全を願い、登山開始しました。

途中、会の大先輩である小林さんと合流し、忍者のようなヒタヒタ歩きに驚愕。いかに音を立てずに登るかが力の分散や体重移動、後々のレベルアップ、勿論見た目にも非常に影響するというアドバイスを受け、今までの猪のような歩き方を猛反省しました。

蟻の塔渡りと呼ばれる険しい岩場を何とか乗り越え、眼前には八方睨が待っています。

避難小屋、戸隠牧場へ向かうルートを選択しました。

一度登山計画書を起草しましたがあまりの稚拙さから見かねた戸谷先輩に計画書の書き方をご教授頂きなんとかまとめることができ、ギリギリになって提出しました。山の概要図を描くのは単にこれから向かう山を知るだけでなく周りの山や流れる川の位置や名前等々事前に把握する上で非常に重要なことだと知ることができました。

下りでは登りと同じように音を立てない下り方を意識しましたが足腰の鍛え方が足りないため思い通りの動きができず悔しい思いをしました。

下山後は近くの美味しい蕎麦屋に入り、撮った写真を見ながら余韻にひたりました。

登山の楽しみ方は人それぞれですが、単に山に登りその山の持つ景色や空気を感じるだけでなく、その山へどんな交通手段で行きどんな期待や想いをはせたか。また、

塔渡りは一歩でもつまずけば谷底へ真逆さまに落ちてしまう道で、北アルプスの山々と同等的な上級コースの一つにも数えられているルートです。これでもかと思われに神経を使うも、結局四つん這いの赤ん坊歩きで越えました。赤ん坊歩きする際も注意点があり、尻を落として歩くと安定すると先輩からアドバイスを受けました。

八方睨を越えようと一不動避難小屋までアップダウン豊かな道が続きます。登山日は雲一つない秋晴れの空の中、絶景の紅葉景色を堪能しながらゆっくり進みました。特に山頂から見えた黒姫の紅葉のグライダーが非常に美しかったです。

下山後にその土地で食事や温泉を楽しみ、登った山を振り返るといったことも登山の魅力だと思っています。

戸隠山はそのすべてを感じることのできる貴重な山のひとつだと思います。

私には好きなドライブینگコースとして大きく三つありますが、それは「鬼押出ハイウェイ」と「志賀草津ルート」、そして「戸隠バードライン」です。戸隠山へアクセスする戸隠バードラインは気軽に・無料で・通行規制なしという好条件でドライブを楽しむことのできる最高の道路です。自

転車でもサイクリングを楽しみましたが、どんな交通手段であれ楽しみつくすことのできる道路だと思っています。

登山後は戸隠神社周辺の蕎麦屋街で食事を取り、戸隠神告げ温泉で旅の疲れをいやすと、より満足のいく一日になるのではないのでしょうか。

今回の山行は私自身に足りないことを気づかせてくれた山行であり、初めてゆっくりと紅葉を楽しんだ、思い出に残る山行でした。

グループ・ド・モレーヌ  
萩原史彦

登山・クライミング・キャンプ  
カヌー・テレマーク・山スキー



山とスキー専門店 **ブンリン**

松本中央2丁目7の14  
TEL & FAX 0263-33-3633  
営業時間 10:00~19:30 (日曜祝日 10:00~18:30)  
定休日：水曜日